



平成31年2月8日

電気ストーブ × ロボット掃除機の火災にご注意！

～ 電気ストーブが掃除機に押されて火災になることがあります ～

東京消防庁管内において、ロボット掃除機が電気ストーブを押して動かし、可燃物に接触して燃える火災が2件発生しました。

ロボット掃除機は各種センサーが搭載されていますが、使用条件によっては、火災を発生させる可能性がありますので、ご注意ください。

【ロボット掃除機】

近年、AI家電が普及してきていますが、掃除機分野でもAIのアルゴリズムによって自動で室内を走行し、清掃を行うものが普及してきています。

ロボット掃除機は各社から販売されており、壁などに接触した際は反転し、階段などからも落下しないように各種センサーで制御されています。普段は所定の場所で充電・待機し、使用者の操作やタイマーによって稼働するタイプの物が多くなっています。

【火災の概要】

火災の概要は別紙1のとおりです。

【火災の危険性】

電気ストーブがある室内でロボット掃除機を使用した場合、次の危険性があります（別紙2参照）。

- (1) 電気ストーブが押されて移動する。
- (2) 電気ストーブが押され、移動しながら向きを変える。
- (3) 電気ストーブのコードにからまり、思わぬ方向にストーブが動く。

【火災を防ぐために】

ロボット掃除機を使用する際は、その特性を理解し、次の点に注意して使用してください。

- (1) 取扱説明書等に記載されている使用条件や注意点をよく読み、危険な状態とならないよう注意してください。
- (2) ロボット掃除機を自動運転する場合は、電気ストーブのコードを抜いてください。

※ 実験映像と写真を希望する社は、広報課報道係までご連絡ください。

問合せ先

（東京消防庁（代） 電話 3212-2111）
予防部調査課 内線 5042 5048
広報課報道係 内線 2345～2350

【別紙 1】

ロボット掃除機が関与した火災事例

【事例 1】

- 1 日 時 : 平成 30 年 12 月
- 2 被害状況 : 共同住宅の住戸内、家具等焼損。死傷者なし。
- 3 出火時の状況 :
出火した住戸の住人が 1 階にいたところ、自動火災報知設備が鳴動したので 2 階のリビングに戻ると、電気ストーブとソファが接触して出火していたもの。
出火前は 2 階で電気ストーブがソファから 50 cm の位置に置かれており、室内はロボット掃除機が運転状態であった。

【事例 2】

- 1 日 時 : 平成 31 年 2 月
- 2 被害状況 : 共同住宅の住戸 1 室 20 m² 焼損。死傷者なし。
- 3 出火時の状況 :
近隣の会社員が出火建物の窓から煙が出ているのに気付いた。
出火した住戸の住人は外出中であり、机の下に置いていた電気ストーブの位置が変わって出火したもの。
ロボット掃除機はタイマー設定がされていた。

【別紙 2】

出火危険性の確認実験

火災現場の状況を踏まえ、ロボット掃除機により電気ストーブが移動する可能性を実験した結果、次の現象が認められた。

1 電気ストーブの移動

火災現場と同様にフローリング床に電気ストーブを置き、同メーカーのロボット掃除機を用いて検証を行った結果、電気ストーブがロボット掃除機に押されて移動する状況が確認できた。



2 電気ストーブの方向変換

1と同様の実験中、ロボット掃除機の接触状況によっては、電気ストーブが移動とともに方向変換し、ストーブの側面、背面側の物品からも出火する可能性が確認された。



3 電気コードによる電気ストーブの移動

ロボット掃除機が移動する際に電気ストーブの電源コードを巻き込み、コードを引っ張ることにより電気ストーブが移動することが確認された。

